

## 大草谷津田いきものの里 自然観察会

### カエルぴよこぴよこ何種類？

芳我めぐみ（千葉市）

日時：2015年6月7日（日） 10：30～12：00 天候：晴れ

参加者：47名（大人26名 子ども21名）

担当指導員：松本美千代 芳我めぐみ

大草谷津田の観察会では、テーマに「カエル」の文字が付くと参加者が多い！？今回も大勢の参加者があり、上陸したばかりの子ガエルたちには受難のひと時だったかもしれない。谷津田はこの時期、多種多様な生き物で活気づく。下見では水辺に並んでオタマジャクシが口をぱくぱくさせて食事する様子、水に落ちた小さなバッタに寄ってくるアメンボウなどゆっくり観察をしてもらおうと話していた。下見で考えたゆっくり観察は難しいがたくさんの生き物が繋がってこの谷津田で暮らしているところは見て欲しいと考えた。ここで登場したのが松本さん手作りの「大草やっくん」ノート。大草にいるカエル4種（ニホンアカガエル、ニホンアマガエル、シュレーゲルアオガエル、アズマヒキガエル）と観察会で出会えた生き物を記入し、家に帰ってシールを貼ってもらう。完成させるとこの日の観察記録と思い出ノートになる優れもの。参加者が多かったので子どものいる家庭のみ1冊配った。早朝、大草のハンノキ林で写したミドリシジミの写真を参加者のお一人が提供してくださった。このチョウに出会えることも期待して出発。



子ども達は次々生き物を発見していく。モリチャバネゴキブリ ザトウムシ トホシテントウ ヒダリマキマイマイ… 「小さなカエル！」杉林でニホンアカガエルの子ガエル発見。林にカエルがいることに参加者の多くの人びがビックリしていた。葉の上に虫ではなく実を付けたハナイカダも観察。葉を透かしてみれば主脈と花軸が重なっている。葉にくっついて見える謎もわかって「なるほど！」子供たちの生き物報告に負けまい？と「笹のような葉っぱを食べている黒い虫は？」「この大きなものは？」とお父さんお母さんも質問してくる。「ナルコユリの葉を食べているヒゲナガクロハバチの幼虫」と「ミカドガガンボです」と松本さんが答える。田んぼに着くころには「見つけた！」「採った」と大忙し。ミドリシジミを捕まえて、Oさんがカップに入れて見せてくれる。羽根を広げると美しい緑色。大人たちは感激！子どもたちはベニシジミ スジグロシロチョウしっぽのあるカエルや金色のカエルなどを採って来る。クサガメも見つかってしまっ子どもに触られ迷惑そう。「臭いからクサガメ」と名の由来を話しても子どもは平気。生き物は元の場所に返しカエルやミミズ、カメなど触った手をYさんが用意してくれた水で洗う。カエルはこの日アズマヒキガエルを除き3種が見られた。何年ぶりかでオオヨシキリがヨシ原に戻ってきた。「ギョギョシ ギョギョシ」の音が聴けたのも嬉しかった。

子ども達は次々生き物を発見していく。モリチャバネゴキブリ ザトウムシ トホシテントウ ヒダリマキマイマイ… 「小さなカエル！」杉林でニホンアカガエルの子ガエル発見。林にカエルがいることに参加者の多くの人びがビックリしていた。葉の上に虫ではなく実を付けたハナイカダも観察。葉を透かしてみれば主脈と花軸が重なっている。葉にくっついて見える謎もわかって「なるほど！」子供たちの生き物報告に負けまい？と「笹のような葉っぱを食べている黒い虫は？」「この大きなものは？」とお父さんお母さんも質問してくる。「ナルコユリの葉を食べているヒゲナガクロハバチの幼虫」と「ミカドガガンボです」と松本さんが答える。田んぼに着くころには「見つけた！」「採った」と大忙し。ミドリシジミを捕まえて、Oさんがカップに入れて見せてくれる。羽根を広げると美しい緑色。大人たちは感激！子どもたちはベニシジミ スジグロシロチョウしっぽのあるカエルや金色のカエルなどを採って来る。クサガメも見つかってしまっ子どもに触られ迷惑そう。「臭いからクサガメ」と名の由来を話しても子どもは平気。生き物は元の場所に返しカエルやミミズ、カメなど触った手をYさんが用意してくれた水で洗う。カエルはこの日アズマヒキガエルを除き3種が見られた。何年ぶりかでオオヨシキリがヨシ原に戻ってきた。「ギョギョシ ギョギョシ」の音が聴けたのも嬉しかった。